



2026 年 5 月 11 日版

ATEN ジャパン株式会社 技術本部

---

# ATEN 会議室予約システム (RBS)

## Microsoft 365 セットアップガイド

---



## 内容

1. はじめに.....	4
1.1 本ガイドの目的 .....	4
1.2 ATEN 会議室予約システム (RBS) とは.....	4
主なメリット .....	4
導入時の注意点.....	4
各機能の追加やオンプレミス環境での利用したい場合は「ATEN Unizon」 .....	4
1.3 前提条件.....	5
1.4 ネットワーク要件 .....	5
2. セットアップの全体像と認証方式の選択 .....	6
認証方式の比較.....	6
3. M365 管理センターでの準備 (共通) .....	7
3.1 M365 管理センターへのログイン.....	7
3.2 代理人用ユーザーアカウントの追加.....	8
3.3 会議室リソースの追加.....	10
3.4 代理人の設定 .....	11
3.5 リソースアカウントのパスワード設定.....	12
4. 【方式 A】 アカウントクレデンシャル.....	13
4.1 MFA (多要素認証) の無効化.....	13
4.2 Microsoft Entra 管理センターを開く .....	15
4.3 アプリの新規登録 .....	16
4.4 アプリケーション (クライアント) ID の記録.....	18
4.5 パブリッククライアントフローの許可.....	19
4.6 API アクセス許可の設定 (委任されたアクセス許可) .....	20
4.7 管理者の同意を付与する .....	22
5. 【方式 B】 クライアントシークレットキー.....	23
5.1 Microsoft Entra 管理センターを開く .....	24
5.2 アプリの新規登録 .....	25
5.3 アプリケーション ID とディレクトリ (テナント) ID の記録.....	27
5.4 パブリッククライアントフローの許可.....	28
5.5 クライアントシークレットの作成 .....	29
5.6 API アクセス許可の設定 (アプリケーションの許可) .....	31
5.7 管理者の同意を付与する .....	33
6. RBS Configurator での設定.....	34
6.1 カレンダー設定 .....	35
方式 A: アカウントクレデンシャルの場合 .....	35

方式 B: クライアントシークレットキーの場合.....	35
6.2 デバイス設定 (パネル端末の検索と登録) .....	37
6.3 プロファイルのアップロード .....	38
7. 設定の確認.....	39
7.1 VK430 など予約端末で操作する .....	39
7.2 PC から予約をして VK430 と連動するか確認する .....	40
8. トラブルシューティング.....	41
8.1 パネル端末がカレンダーに接続できない.....	41
8.2 会議の件名や詳細が表示されない .....	41
8.3 シークレットキーの有効期限が切れた (方式 B) .....	41
8.4 設定が反映されない.....	41
9. FAQ .....	42
9.1 M365 で使用する時に追加のアカウントは本当に必要ないのか?.....	42
9.1 予約システムの仕組みをもう少し詳しく知りたい .....	42
各機器の役割.....	42
カレンダー連携の仕組み.....	42
会議室リソースにライセンスは不要 .....	43
9.2 VK430 の画面で英語表記になっているので、日本語に直したい.....	43
9.3 何度か更新したら VK430 が「未接続」になってしまった.....	44
9.4 VK430 を 1 台ごとに Microsoft365 のアカウントが必要か? .....	44

# 1. はじめに

## 1.1 本ガイドの目的

本ガイドでは、ATEN 会議室予約システム（以下「本製品」）を Microsoft 365（以下「M365」）環境で利用するために必要な設定手順を、管理画面（GUI）の操作のみで解説します。PowerShell などのコマンドライン操作は使用しない方法での手順を紹介します。

本ガイドは 2 種類の認証方式（「アカウントクレデンシャル」「クライアントシークレットキー」）の両方に対応しています。貴社の環境に合った方式を選び、該当する章へ進んでください。

## 1.2 ATEN 会議室予約システム（RBS）とは

本製品は、会議室の入り口に設置するタッチパネル端末（VK430 など）と、M365 の会議室リソースのアカウントに付与されているカレンダーを連携させた会議室予約管理システムです。

M365 に登録されている「部屋リソース」のカレンダーデータを、Microsoft Graph API を通じて指定したデリゲートアカウントでリアルタイムに読み書きします。Outlook カレンダーから予約した会議室の状況がパネル端末にリアルタイムで反映され、パネル端末からの直接予約・延長・終了も可能です。

### 主なメリット

既存の M365 環境をそのまま活用できるため、新たな予約専用アカウントの追加は不要です。Outlook カレンダーでの予約がパネル端末にリアルタイムで反映されるため、会議室の空き状況がひと目でわかり、無断利用や予約の重複を防ぐ効果も期待できます。

### 導入時の注意点

本製品は M365 のカレンダーサーバーと連携します。M365 側のセキュリティ設定（MFA など）や既定の仕様が本製品の動作に影響する場合があります。設定前に貴社の M365 管理者とセキュリティポリシーとの整合性をご確認ください。

### 各機能の追加やオンプレミス環境での利用したい場合は「ATEN Unizon」

M365 を将来的に使わない可能性がある、クローズドなネットワークにて使いたいと言った場合は、管理サーバーソフトウェア「ATEN Unizon」と専用の「タイムテーブルアドオン」をご購入いただくことで、安心してご利用いただけます。ATEN 製コントロールシステムを始めに他社システムと連携することで、ProAV 機器や照明を自動操作を連携させるなど、省エネなどの施設効率化の環境づくりができます。

### 1.3 前提条件

- M365 のテナントが導入済みであること
- M365 管理センターへのグローバル管理者アクセス権があること
- Exchange Online のライセンスが利用可能であること
- VK430 パネル端末がインターネットに接続できる環境であること
- RBS Configurator がインストール済みの PC があること

### 1.4 ネットワーク要件

VK430 パネル端末を設置したネットワークから以下の URL に HTTPS（ポート 443）でアクセスできる必要があります。

- <https://graph.microsoft.com/>
- <https://login.microsoftonline.com/>

## 2. セットアップの全体像と認証方式の選択

本製品のセットアップは、M365 管理センターでの準備（共通）、認証方式ごとの設定、RBS Configurator での設定の 3 つのフェーズに分かれます。

### ▶ 読み進め方ガイド

1. まず第 3 章（M365 管理センターでの準備）を実施してください。← 両方式共通
2. ▶ [アカウントクレデンシャル方式 → 第 4 章へ](#)
2. ▶ [クライアントシークレットキー方式 → 第 5 章へ](#)
3. その後、[第 6 章（RBS Configurator での設定）](#) へ進んでください。

### 認証方式の比較

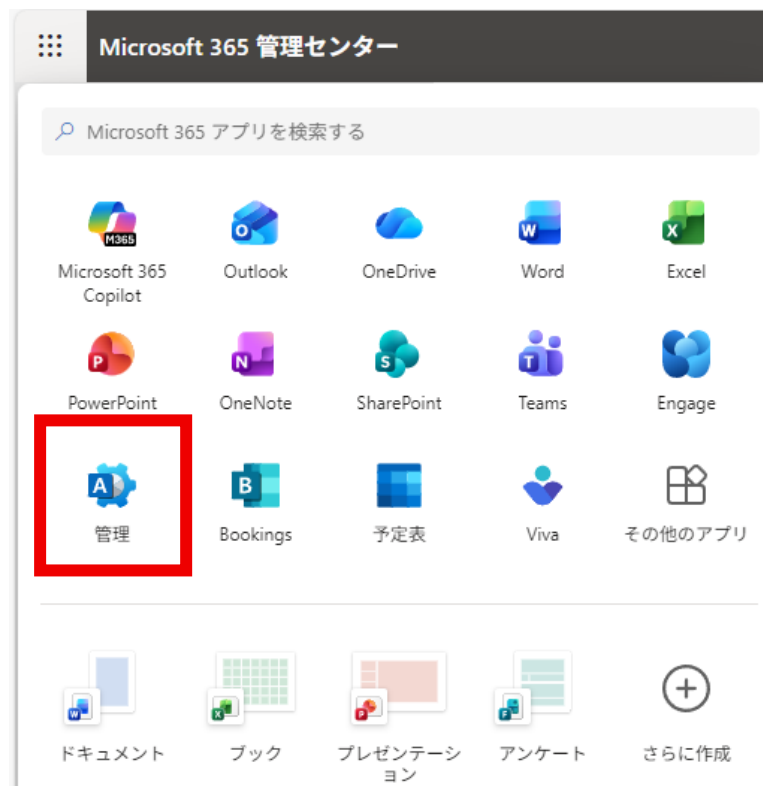
項目	アカウントクレデンシャル	クライアントシークレットキー
概要	代理人アカウントの ID/パスワードで認証します。MFA の無効化が必要です。	Entra ID で発行するシークレットキーで認証します。MFA を有効のまま利用できます。
メリット	一度設定すればアカウント情報が変わらない限り再設定は不要です。	MFA を無効にする必要がなく、セキュリティポリシーが厳しい環境でも導入できます。
注意点	MFA を無効にする必要があり、セキュリティポリシー上採用できない場合があります。	シークレットキーには有効期限（3～24 か月）があり、期限前に再発行とプロファイルの再アップロードが必要です。
対象の章	第 4 章 → 第 6 章	第 5 章 → 第 6 章

### 3. M365 管理センターでの準備（共通）

この章の手順は、どちらの認証方式でも必要な共通作業です。

#### 3.1 M365 管理センターへのログイン

1. ブラウザで <https://admin.microsoft.com/> にアクセスし、グローバル管理者アカウントでサインインします。
2. Microsoft 365 のアプリ一覧から「管理」をクリックして、管理センターを開きます。



## 3.2 代理人用ユーザーアカウントの追加

本製品が M365 のカレンダーにアクセスする際、「代理人(デリゲート)」となるユーザーアカウントが必要です（アカウントクレデンシャル方式の場合）。クライアントシークレットキー方式でも、管理用アカウントとして作成しておくことを推奨します。

### 注意

グローバル管理者アカウントを代理人として使用しないでください。本製品の管理専用アカウントを新規作成することを強く推奨します。

1. 左ペインの「ユーザー」>「アクティブなユーザー」をクリックし、「ユーザーの追加」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft 365 Management Center interface. On the left, the navigation pane is visible with 'ユーザー' and 'アクティブなユーザー' highlighted in red. The main content area is titled 'アクティブなユーザー' and features a 'ユーザーの追加' button, also highlighted in red. Below the button are filter options for 'ライセンス', 'サインインの状態', 'ドメイン', and '場所'. A table of active users is displayed with columns for checkboxes, user names, and licenses. The table contains several rows, with some user names obscured by a black redaction box.

<input type="checkbox"/>	表示名 ↑	ユーザー名	ライセンス
<input type="checkbox"/>			Microsoft 365 E5 Developer (Windows および電話会議なし)
<input type="checkbox"/>			Unlicensed
<input type="checkbox"/>			Microsoft 365 E5 Developer (Windows および電話会議なし)
<input type="checkbox"/>			Microsoft 365 E5 Developer (Windows および電話会議なし)
<input type="checkbox"/>			Unlicensed
<input type="checkbox"/>			Microsoft 365 E5 Developer (Windows および電話会議なし)
<input type="checkbox"/>			Microsoft 365 E5 Developer (Windows および電話会議なし)

2. 「基本設定」画面で姓名、表示名、ユーザー名を入力し、パスワードを設定して「次へ」をクリックします。

3. 「製品ライセンスの割り当て」画面で、Exchange Online を含むライセンスを割り当てます。  
 対応ライセンスの例: Microsoft 365 Business Basic/Standard/Premium、Enterprise E1/E3/E5 など

4. 画面の指示に従って設定を完了します。

### 3.3 会議室リソースの追加

パネル端末に表示する会議室ごとに、「リソース（会議室）」を登録します。すでに登録済みの場合はスキップしてください。

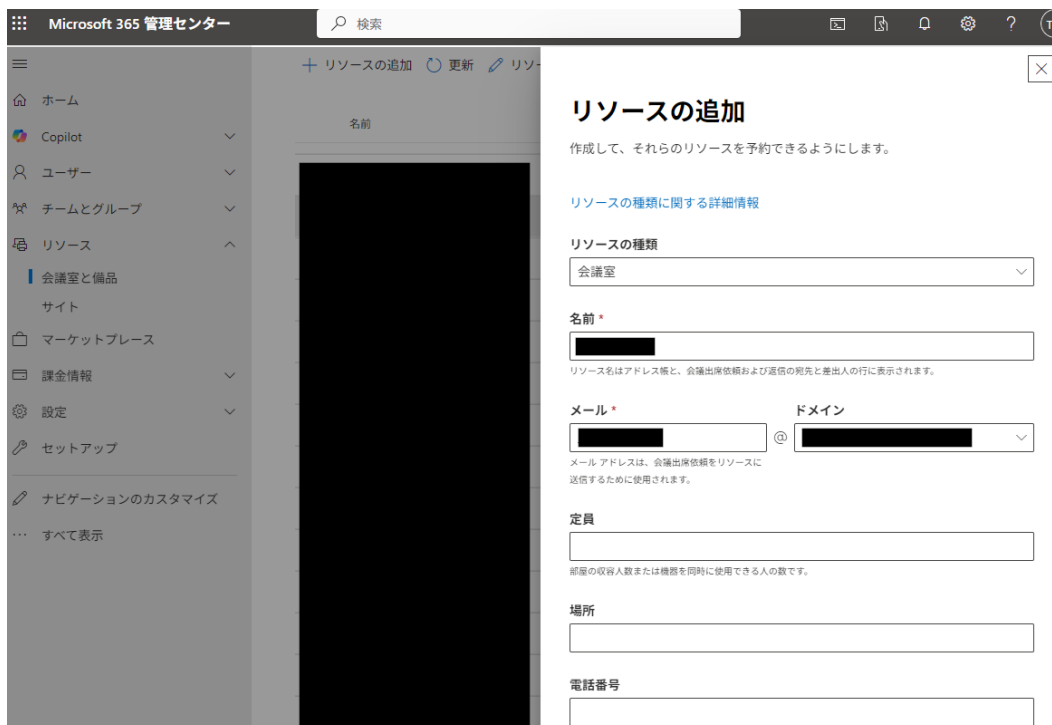
1. 左ペインの「リソース」>「会議室と備品」をクリックし、「リソースの追加」をクリックします。



2. リソースの種類に「会議室」を選択し、名前を入力します。

#### ヒント

メールアドレス(名前)は必ず半角英数字（英語）で入力してください。VK430 で表示する日本語の表示名は後から変更できます。

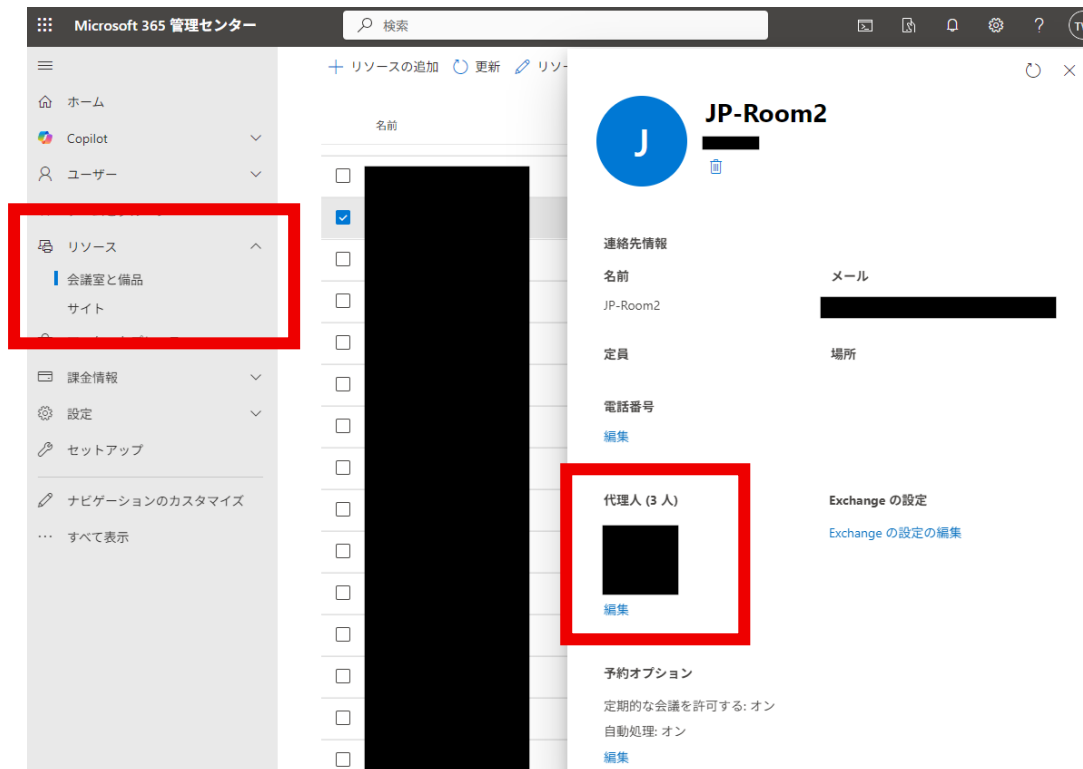


3. 必要な項目を入力したら「保存」をクリックします。会議室ごとにこの手順を繰り返してください。

### 3.4 代理人の設定

アカウントクレデンシャル方式を使用する場合、すべての会議室リソースに同じ代理人を登録する必要があります。クライアントシークレットキー方式の場合、この手順は不要です。

1. 「リソース」>「会議室と備品」から設定対象の会議室をクリックします。
2. 右側の詳細パネルで「代理人」の「編集」をクリックし、手順 3.2 で作成したアカウントを登録します。



#### 注意

すべての会議室リソースに同一の代理人を設定してください。代理人が異なると本製品から予約操作ができません。

### 3.5 リソースアカウントのパスワード設定

会議室リソースのアカウント情報は RBS Configurator で使用します。パスワードを把握していない場合はリセットしてください。

1. 「ユーザー」>「アクティブなユーザー」から会議室リソースのアカウントを選択します。
2. 「パスワードのリセット」をクリックし、任意のパスワードに変更します。メモ帳などに控えておいてください。



#### ▶ 次のステップ

- [アカウントクレデンシャル方式の場合 → 第 4 章へ](#)
- [クライアントシークレットキー方式の場合 → 第 5 章へ](#)

## 4. 【方式 A】アカウントクレデンシャル

この章では、アカウントクレデンシャル認証方式に必要な MFA の無効化と Entra ID でのアプリ登録手順を解説します。

### 4.1 MFA（多要素認証）の無効化

アカウントクレデンシャル方式では、代理人アカウントおよび会議室リソースアカウントの MFA を無効にする必要があります。

#### 注意

MFA の無効化はセキュリティに影響する設定変更です。貴社のセキュリティ管理者と十分にご相談のうえ、対策を講じてから実施してください。ATEN ジャパンでは、この設定に起因するセキュリティ上の問題について責任を負いかねますため、ご理解いただきますようお願いいたします。

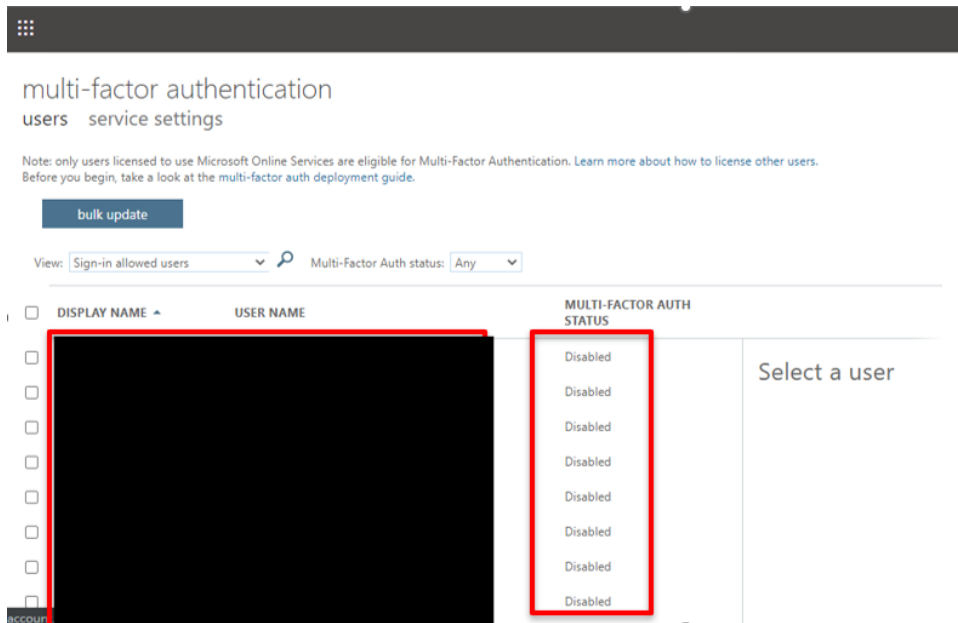
1. M365 管理センターの「ユーザー」>「アクティブなユーザー」で、上部メニューの「多要素認証」をクリックします。



2. 「従来のユーザーごとの MFA」をクリックします。

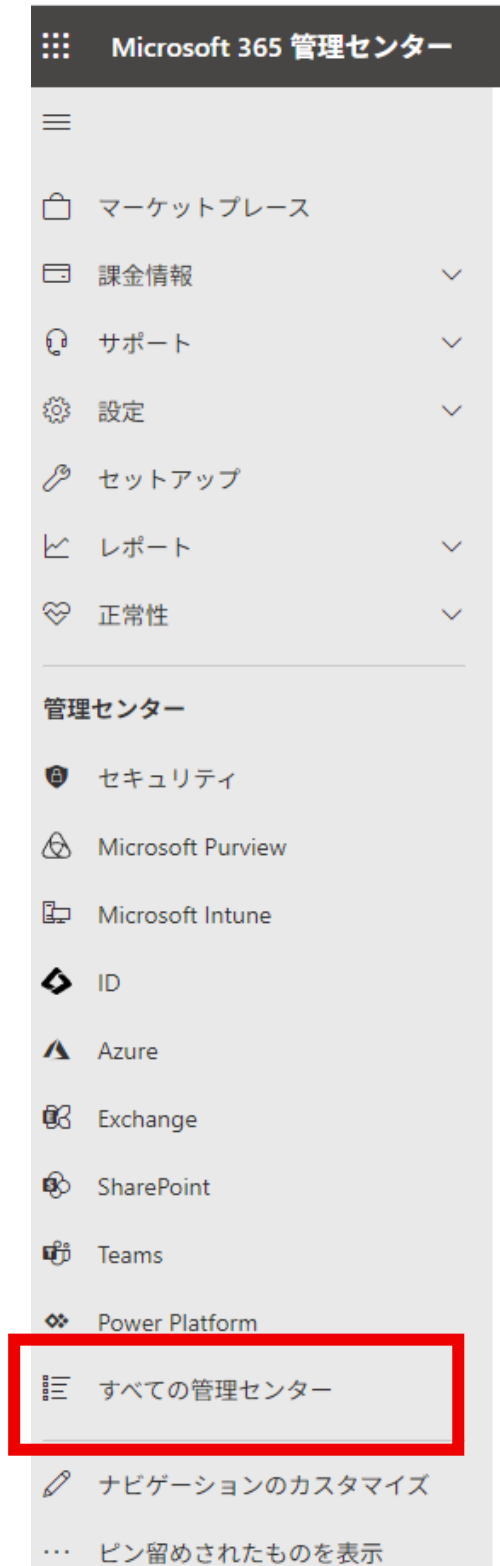


3. 代理人アカウントおよび会議室リソースアカウントの MFA 設定を「Disabled (無効)」に変更します。以下画面は、設定が正しく反映され、対象のアカウントユーザーの多要素認証が無効となっています。



## 4.2 Microsoft Entra 管理センターを開く

1. M365 管理センターの左ペインを下にスクロールし、「すべての管理センター」をクリックします。
2. 管理センターの一覧から「ID」をクリックして、Microsoft Entra 管理センターを開きます。



## 4.3 アプリの新規登録

1. 左ペインの「アプリの登録」をクリックし、「新規登録」をクリックします。



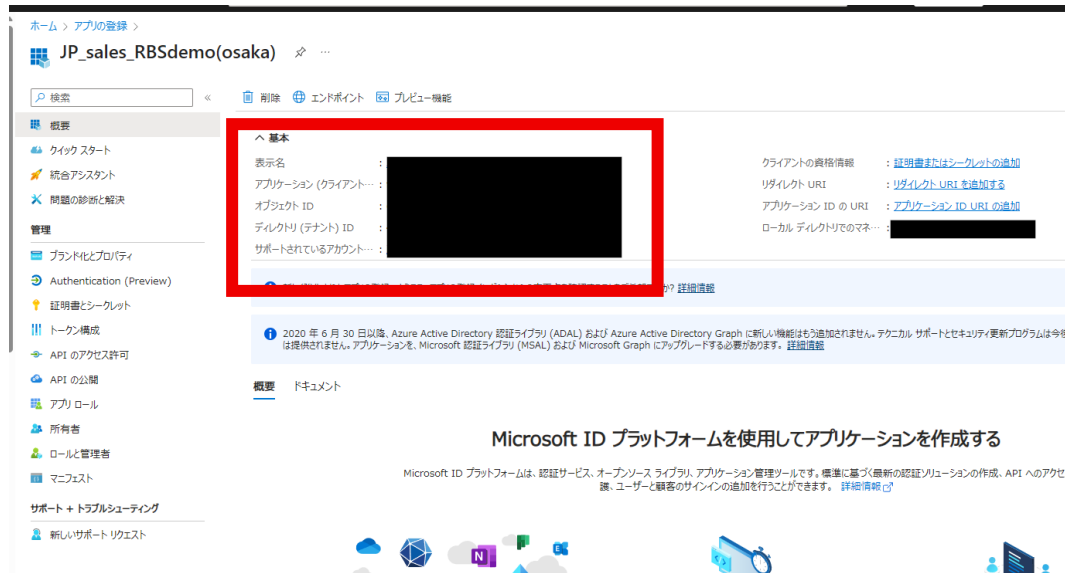
2. 以下を設定し「登録」をクリックします。

- 名前: 任意 (例: ATEN-RBS)
- サポートされているアカウントの種類: 「この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (シングルテナント) 」
- リダイレクト URI: 空欄のまま



## 4.4 アプリケーション（クライアント）ID の記録

1. 登録完了後、概要画面の「アプリケーション（クライアント）ID」をメモ帳などに控えてください。RBS Configurator で使用します。



## 4.5 パブリッククライアントフローの許可

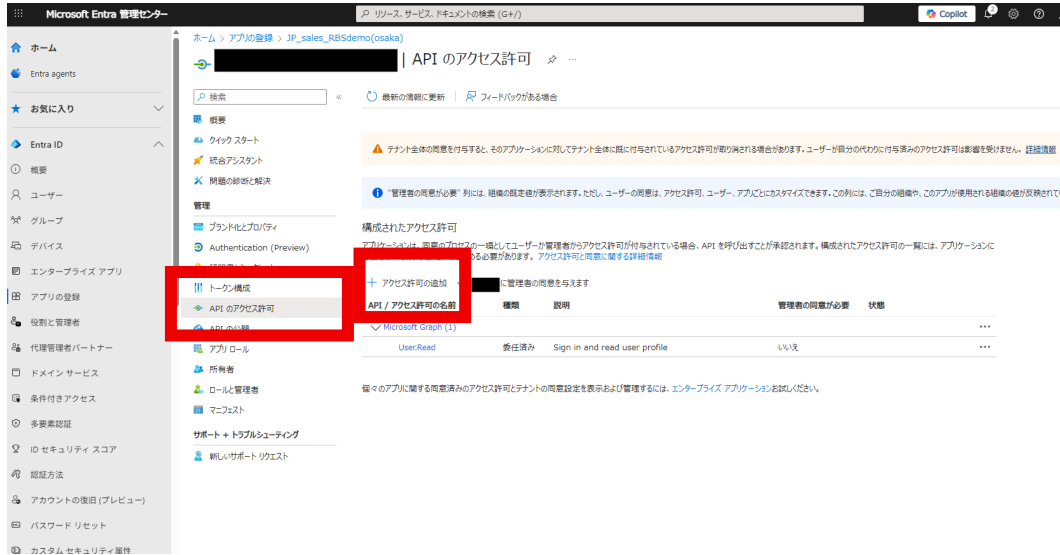
1. 左ペインの「Authentication (Preview)」をクリックします。
2. 「設定」タブをクリックし、「パブリック クライアント フローを許可する」を「有効」に切り替えます。
3. 「保存」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. The left navigation pane is open, and the 'Authentication (Preview)' option is selected. The main content area displays the 'Authentication (Preview)' settings page. The 'Public client flows' toggle is highlighted with a red box and is currently set to 'On' (有効). Below this, there are options for 'Web and SPA settings' and 'Application instance lock'. At the bottom of the page, there are '保存' (Save) and '破棄' (Delete) buttons.

## 4.6 API アクセス許可の設定（委任されたアクセス許可）

アカウントクレデンシャル方式では「委任されたアクセス許可」を使用します。合計 7 つの許可項目を追加します。

1. 左ペインの「API のアクセス許可」>「アクセス許可の追加」をクリックします。



2. 「Microsoft Graph」をクリックし、「委任されたアクセス許可(Delegated Permissions)」を選択します。



### 注意

「アプリケーションの許可」ではなく、必ず「委任されたアクセス許可」を選択してください。ここはシークレットキーでの設定とは異なる項目となります。間違えると正しく動作しません。

3. 以下の 7 項目にチェックを入れ、「アクセス許可の追加」をクリックします。

カテゴリ	アクセス許可名
Calendar	Calendars.Read
Calendar	Calendars.Read.Shared
Calendar	Calendars.ReadWrite
Calendar	Calendars.ReadWrite.Shared
Place	Place.Read.All
User	User.Read
User	User.Read.All

下図のように空欄をチェックを入れて、権限を付与します。上記リストは複数個所に分かれていますので、カテゴリごとに開いてチェックしていきます。

### API アクセス許可の要求

> Bookmark

> BrowserSiteLists

> BusinessScenarioConfig

> BusinessScenarioData

Calendars

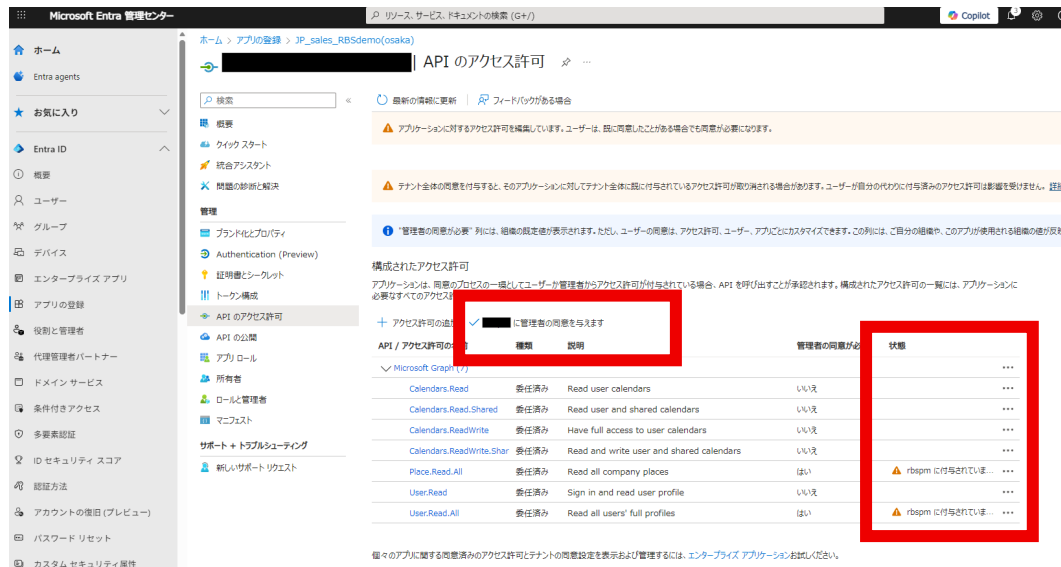
<input type="checkbox"/>	Calendars.Read ⓘ Read user calendars	いいえ
<input type="checkbox"/>	Calendars.Read.Shared ⓘ Read user and shared calendars	いいえ
<input type="checkbox"/>	Calendars.ReadBasic ⓘ Read basic details of user calendars	いいえ
<input type="checkbox"/>	Calendars.ReadWrite ⓘ Have full access to user calendars	いいえ
<input type="checkbox"/>	Calendars.ReadWrite.Shared ⓘ Read and write user and shared calendars	いいえ

\ Call&itncinhte

## 4.7 管理者の同意を付与する

1. アクセス許可一覧で「(テナント名)に管理者の同意を与えます」をクリックします。
2. 確認ダイアログで「はい」をクリックします。
3. すべての項目に緑色のチェックマーク（付与されました）が表示されていることを確認します。

下図の空欄やオレンジ色の三角では、正しく権限が付与されていない例となります。



✓ 方式 A の設定が完了しました。次は [第 6 章 \(RBS Configurator での設定\)](#) へ進んでください。

## 5. 【方式 B】クライアントシークレットキー

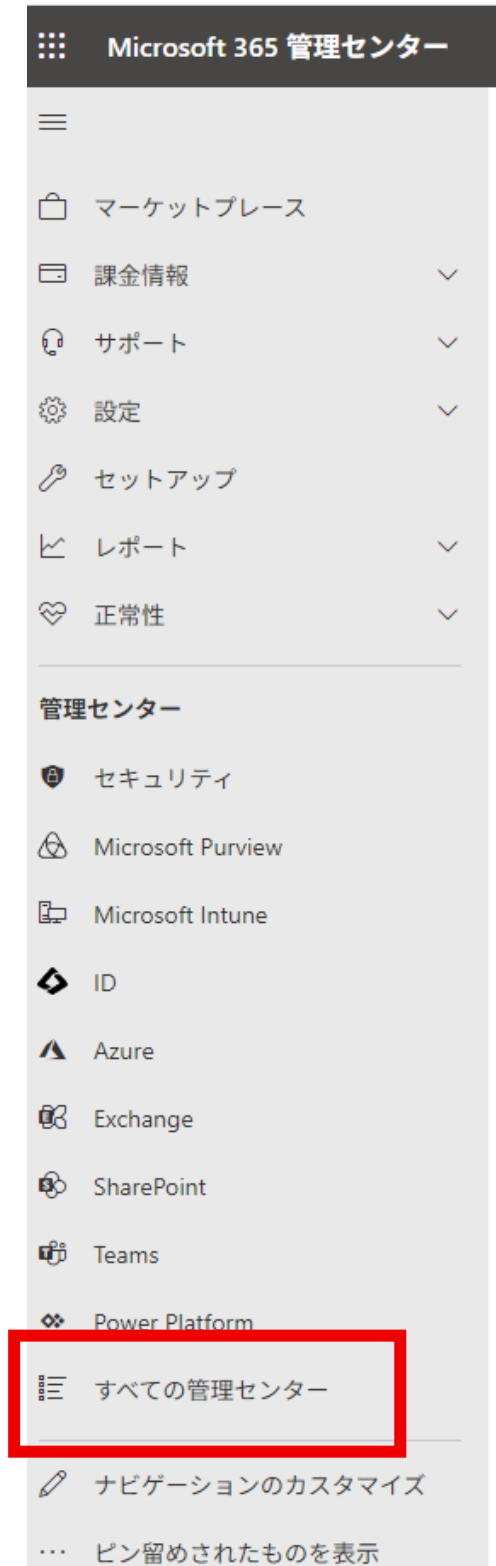
この章では、クライアントシークレットキー認証方式に必要な Entra ID でのアプリ登録手順を解説します。MFA の無効化は不要です。

### ヒント

この方式では、シークレットキーに有効期限（3～24 か月）があります。有効期限が切れると本製品がカレンダーに接続できなくなるため、期限前に新しいキーを発行し、RBS Configurator でプロファイルを再アップロードする必要があります。

## 5.1 Microsoft Entra 管理センターを開く

1. M365 管理センターの左ペインを下にスクロールし、「すべての管理センター」をクリックします。
2. 管理センターの一覧から「ID」をクリックして、Microsoft Entra 管理センターを開きます。



## 5.2 アプリの新規登録

1. 左ペインの「アプリの登録」をクリックし、「新規登録」をクリックします。



2. 以下を設定し「登録」をクリックします。

- 名前: 任意 (例: ATEN-RBS)
- サポートされているアカウントの種類: 「この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (シングルテナント) 」
- リダイレクト URI: 空欄のまま



## 5.3 アプリケーション ID とディレクトリ（テナント） ID の記録

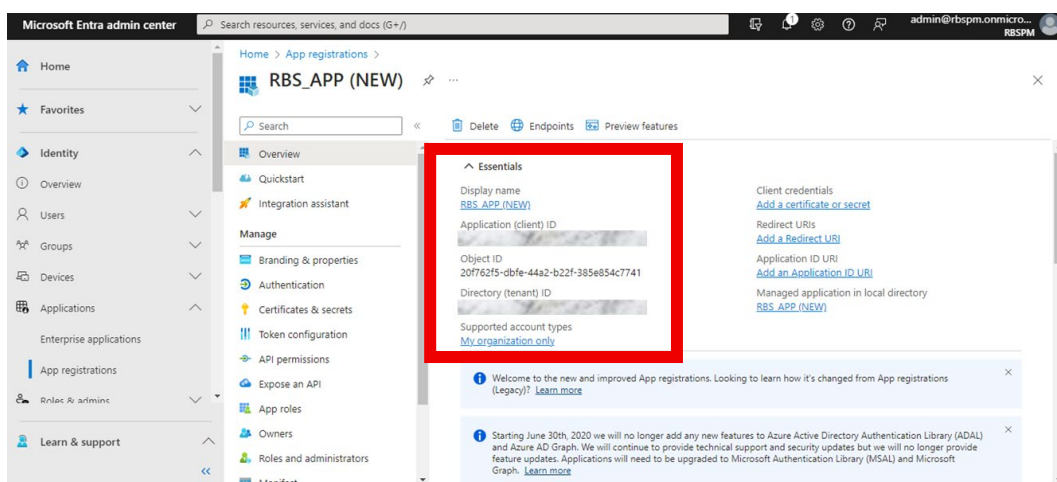
クライアントシークレットキー方式では、アカウントクレデンシャル方式と異なり、「ディレクトリ（テナント） ID」も必要です。

1. 登録完了後の概要画面で、以下の 2 つの値をメモ帳などに控えてください。

- アプリケーション（クライアント） ID
- ディレクトリ（テナント） ID

### ヒント

どちらの ID も RBS Configurator で使用します。メモ帳などへ必ず正確に記録してください。



## 5.4 パブリッククライアントフローの許可

1. 左ペインの「Authentication (Preview)」をクリックします。
2. 「設定」タブで「パブリック クライアント フローを許可する」を「はい」に切り替え、「保存」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. In the left-hand navigation pane, the 'アプリの登録' (App Registrations) option is highlighted with a red box. The main content area displays the 'Authentication (Preview)' settings for the application 'JP\_sales\_RBSdemo(osaka)'. The '設定' (Settings) tab is active, and the 'パブリック クライアント フローを許可する' (Allow public client flows) toggle is turned on, also highlighted with a red box. Below this, the 'Web と SPA の設定' (Web and SPA settings) section is visible, with radio buttons for selecting supported account types. A warning message is displayed at the bottom of the settings area.

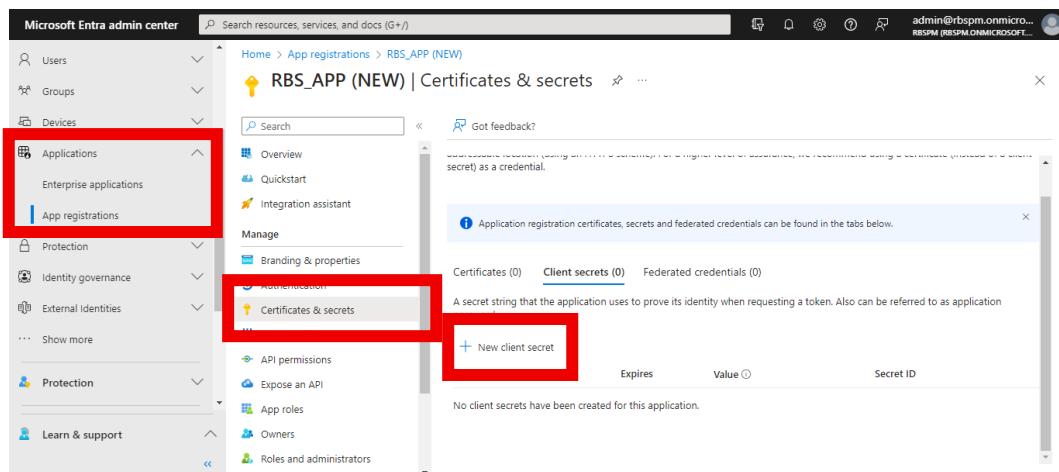
## 5.5 クライアントシークレットの作成

この手順でシークレットキー（パスワードに相当する文字列）を作成します。

1. 左ペインの「証明書とシークレット」（Certificates & secrets）をクリックします。
2. 「クライアント シークレット」タブで「新しいクライアント シークレット」をクリックします。
3. 説明（Description）に任意の名前（例: RBS\_secret）を入力し、有効期限（Expires）を選択して「追加」をクリックします。

### ヒント

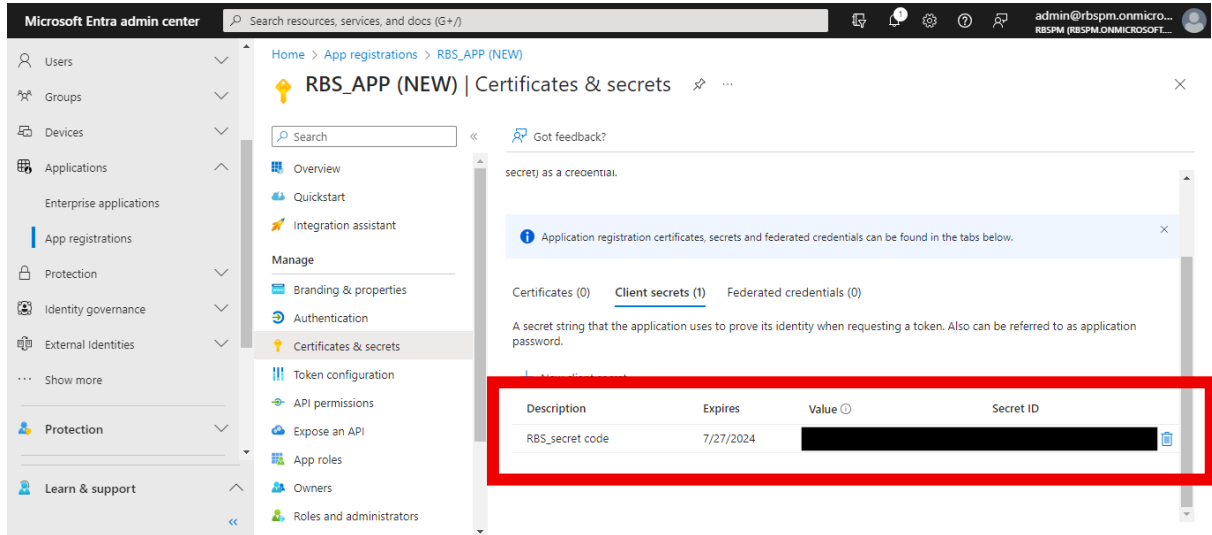
有効期限は 3 か月～24 か月から選択できます。有効期限が切れると本製品がカレンダーに接続できなくなります。管理しやすい期間を選択し、カレンダーに有効期限のリマインダーを設定しておくことを推奨します。



4. 作成された「値」(Value) とシークレット ID をただちにメモ帳などにコピーしてください。

**注意**

シークレットの「値」は、この画面を離れると二度と表示されません。必ずこの時点でコピーしてください。コピーし忘れた場合は、新しいシークレットを作成する必要があります。



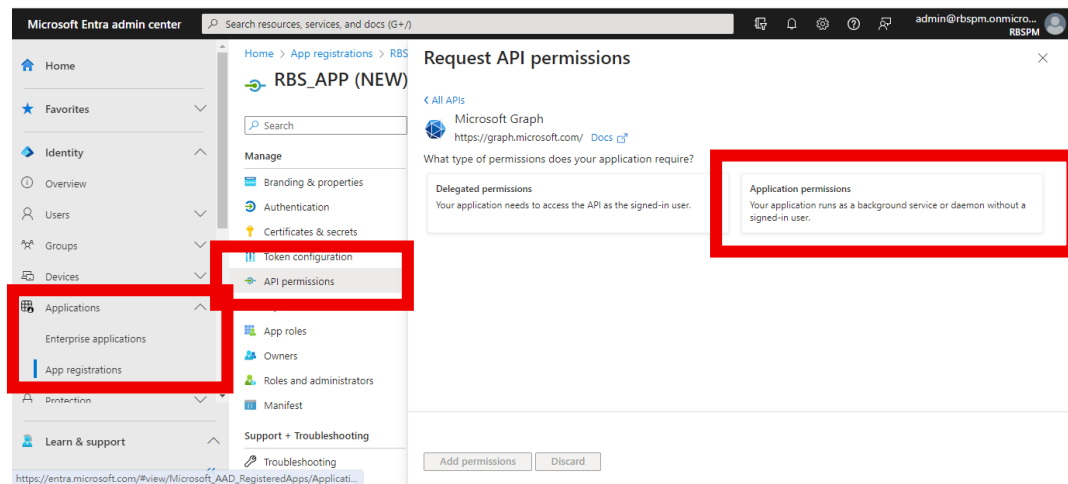
## 5.6 API アクセス許可の設定（アプリケーションの許可）

クライアントシークレットキー方式では「アプリケーションの許可」を使用します。アカウントクレデンシャル方式とは異なる種類の許可です。合計 5 つの許可項目を追加します。

1. 左ペインの「API のアクセス許可」>「アクセス許可の追加」をクリックします。
2. 「Microsoft Graph」をクリックし、「アプリケーションの許可」を選択します。

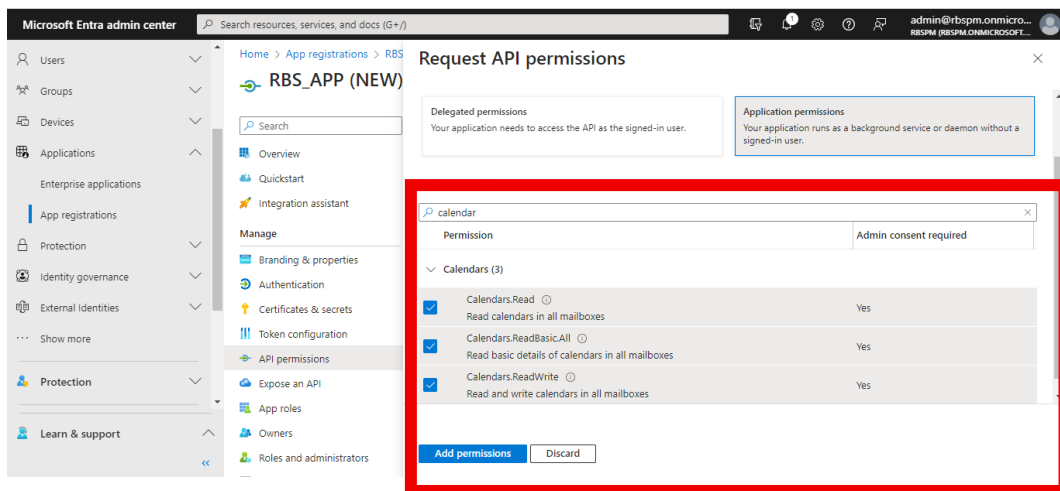
### 注意

**「委任されたアクセス許可」ではなく、必ず「アプリケーションの許可」を選択してください。**ここは、アカウントクレデンシャルから移行した時には、異なる項目となります。間違えると正しく動作しません。



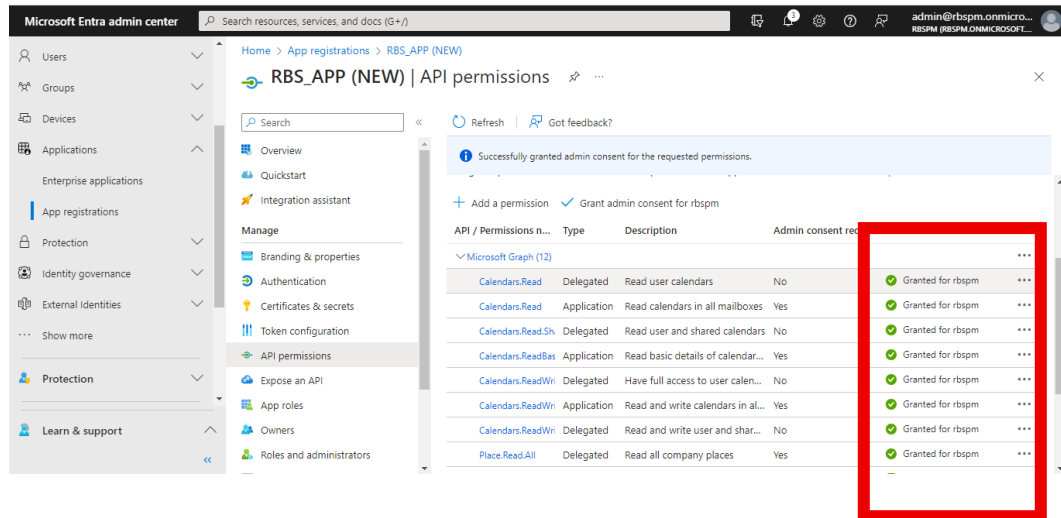
3. 以下の 5 項目にチェックを入れ、「アクセス許可の追加」をクリックします。

カテゴリ	アクセス許可名
Calendar	Calendars.Read
Calendar	Calendars.ReadBasic.All
Calendar	Calendars.ReadWrite
Place	Place.Read.All
User	User.Read.All



## 5.7 管理者の同意を付与する

1. アクセス許可一覧で「(テナント名)に管理者の同意を与えます」をクリックします。
2. 確認ダイアログで「はい」をクリックし、すべての項目に緑色チェックマークが表示されることを確認します。



✓ 方式 B の設定が完了しました。次は [第 6 章 \(RBS Configurator での設定\)](#) へ進んでください。

## 6. RBS Configurator での設定

M365 側の設定が完了したら、RBS Configurator でカレンダー連携とパネル端末へのプロファイルアップロードを行います。RBS Configurator は VK430 と同一ネットワーク上の PC で実行してください。

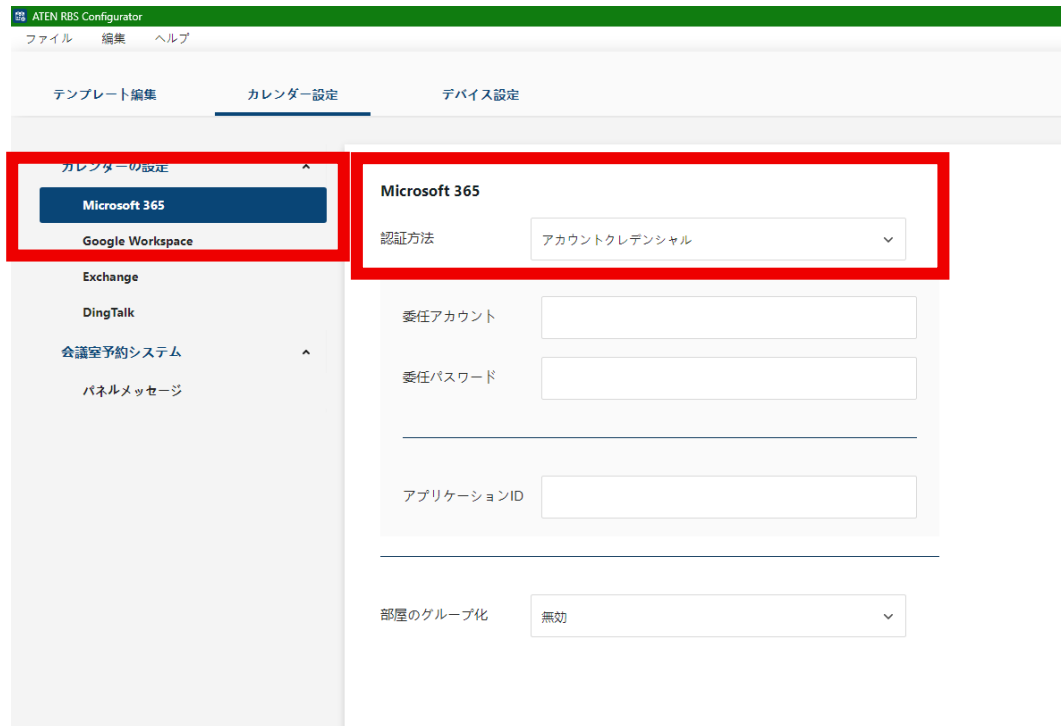
### ヒント

アプリ「RBS Configurator」は、VK430 または、VR610 などの[製品ページ](#)からダウンロードできます。製品ページの「サポートとダウンロード」にある「RBS-Configurator-Setup-vx.x.xxx.zip」の最新版(x は任意の数字)をクリックしてください。会員登録不要でソフトウェアを入手できます。

ソフトウェアの詳細については、同ページにて公開されている製品マニュアルをご参照ください。

## 6.1 カレンダー設定

1. RBS Configurator を起動し、「カレンダー設定」タブをクリックします。
2. 左ペインの「カレンダーの設定」>「Microsoft 365」をクリックします。
3. 「認証方法」のドロップダウンから、使用する認証方式を選択します。

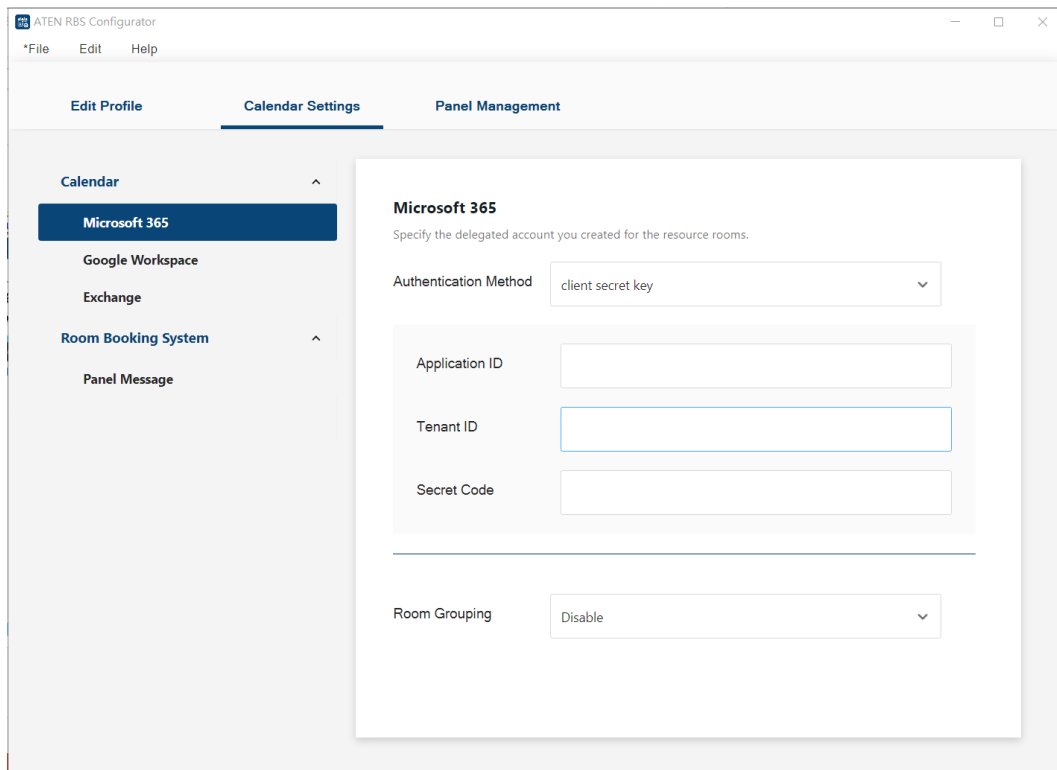


### 方式 A: アカウントクレンシャルの場合

- 認証方法: 「アカウントクレンシャル」を選択
- 委任アカウント: 手順 3.2 で作成した代理人アカウントのメールアドレス
- 委任パスワード: 代理人アカウントのパスワード
- アプリケーション ID: 手順 4.4 で記録したアプリケーション (クライアント) ID

### 方式 B: クライアントシークレットキーの場合

- 認証方法: 「クライアントシークレットキー」を選択
- アプリケーション ID: 手順 5.3 で記録したアプリケーション (クライアント) ID
- ディレクトリ (テナント) ID: 手順 5.3 で記録したディレクトリ (テナント) ID
- クライアントシークレット: 手順 5.5 で記録したシークレットの「値」



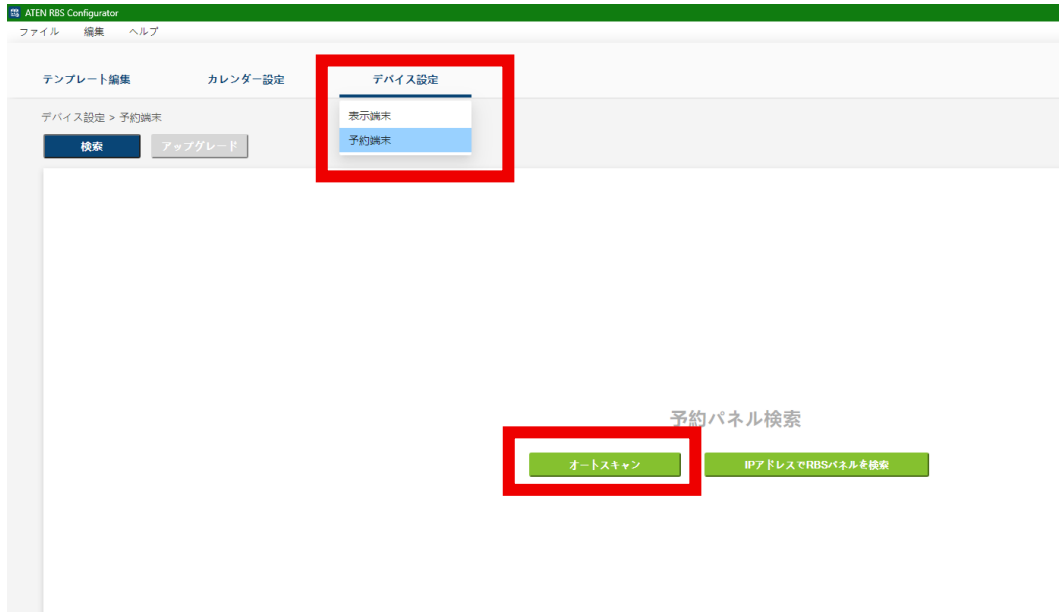
ここで入力したデータは、プロジェクトファイルにて保存できます。アカウントクレデンシャルではそのまま継続してご利用いただけますが、クライアントシークレットキーをご利用される場合は、定期的に EntraID にてシークレットキーを更新し、この箇所を更新してご利用ください。

#### ヒント

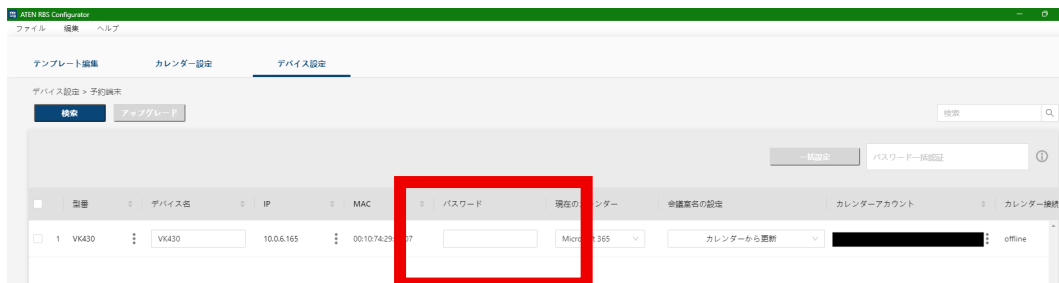
シークレットキー形式で利用する場合は、例えばファイル名で「yoyaku\_2026-04-02\_2026-06-30.rbsproj」のように、有効期間を記載しておくことで、保守作業性が向上します。

## 6.2 デバイス設定（パネル端末の検索と登録）

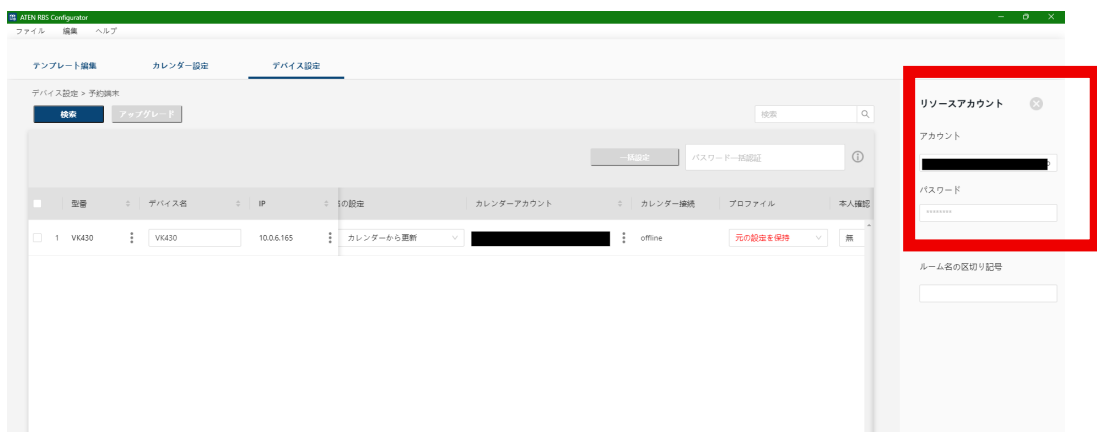
1. 「デバイス設定」タブをクリックし、「予約端末」を選択します。



2. 「オートスキャン」をクリックして、同一ネットワーク上の VK430 を検索します。
3. 検出されたパネルの「パスワード」列にパネルの現在のパスワードを入力します。初回のデフォルトパスワードは「password」ですが、予め VK430 側でパスワードを変更してからこちらをご利用ください。

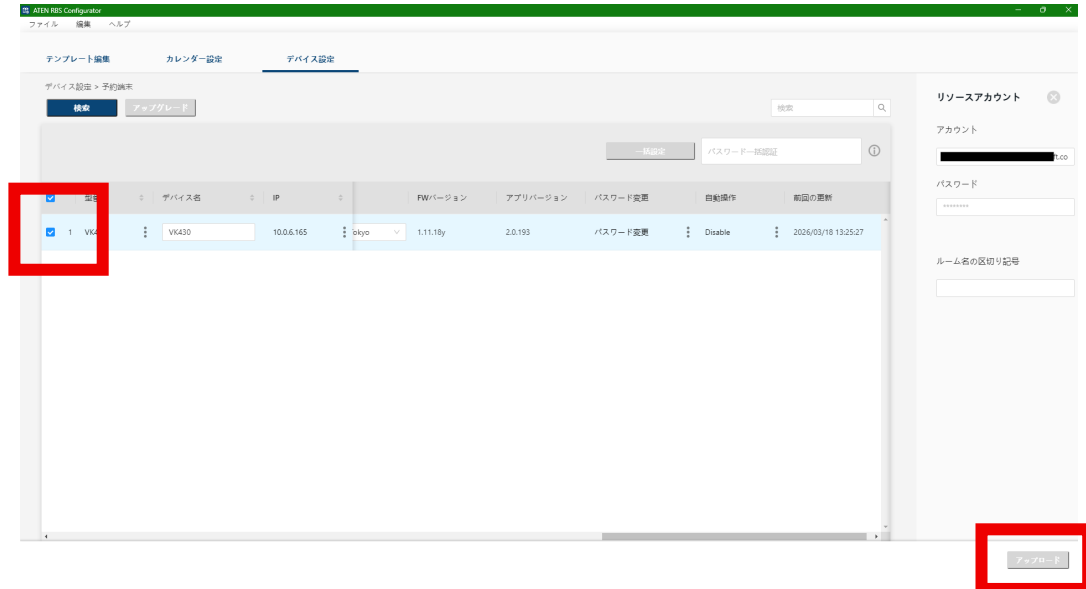


4. 「カレンダーアカウント」列をクリックし、この端末に割り当てる会議室リソースのメールアドレスとパスワードを入力します。



## 6.3 プロファイルのアップロード

1. 設定が完了したパネル端末のチェックボックスを選択します。
2. 「アップグレード」ボタンをクリックしてプロファイルをアップロードします。



アップロード完了後、パネル端末が再起動し設定が反映されます。カレンダー接続列が「online」に変われば設定は正常に完了しています。

### ヒント

アップロードボタンは、次の時は灰色表示で無効化されています。

- 各パスワードの項目で入力漏れがある
- データアップロードする端末を選択していない

## 7. 設定の確認

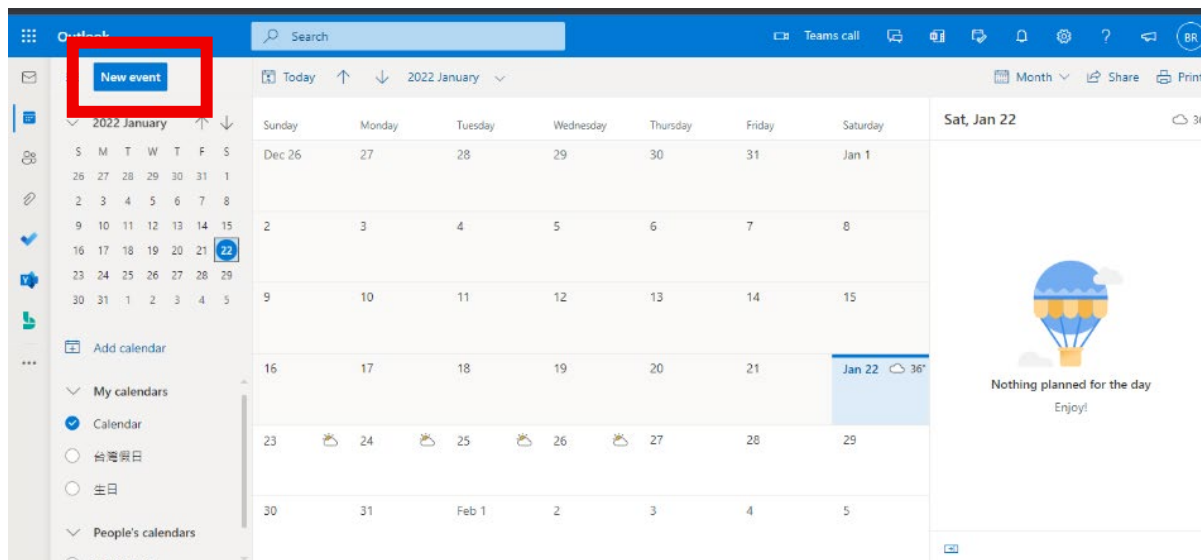
---

### 7.1 VK430 など予約端末で操作する

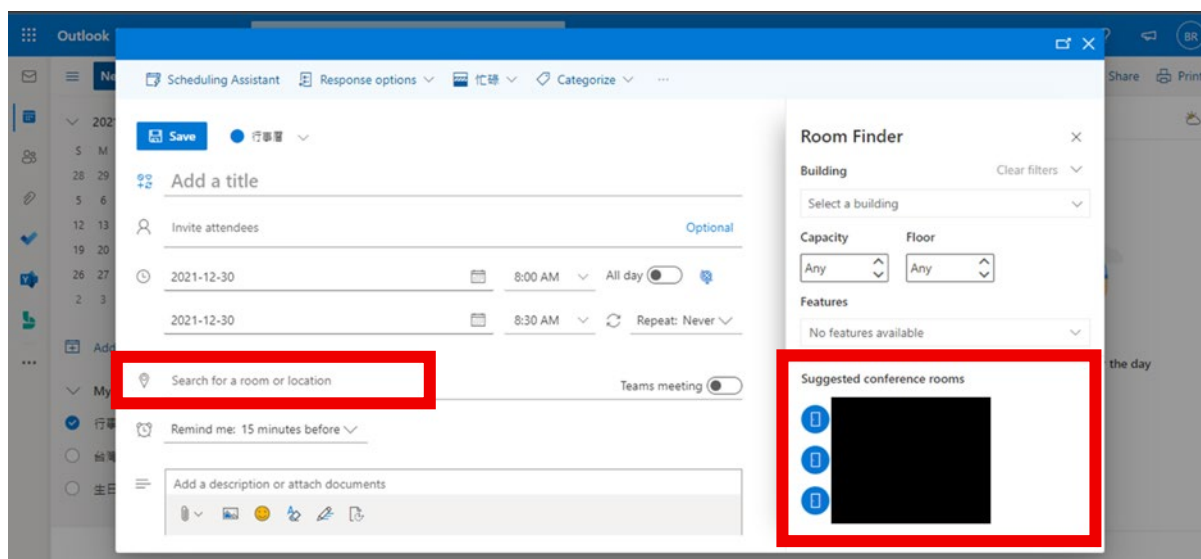
1. アップロードが正しく出来てかつ、端末がインターネットに接続できれば、端末の画面に設定した部屋名が表示されます。
2. 画面操作で、クイック予約ができることを確認します。
3. タッチ操作で、チェックインやチェックアウトなどが出来たら設定完了です。

## 7.2 PC から予約をして VK430 と連動するか確認する

1. 任意の M365 アカウントから Outlook カレンダー（<https://outlook.office.com/calendar/>）にログインし、「新しいイベント」をクリックします。



2. 「場所」の項目で、本ガイドで追加した部屋が右下の欄から選択できるか確認します。



3. 設定したイベントを VK430 で予約確認や新規予約が行えることを確認します。

### ヒント

会議の件名や詳細がパネル端末に表示されない場合は、M365 のリソースアカウントの既定設定が原因の可能性があります。この問題の解決には M365 管理者による PowerShell での設定変更が必要になる場合があります。

## 8. トラブルシューティング

---

### 8.1 パネル端末がカレンダーに接続できない

- パネル端末から <https://graph.microsoft.com/> および <https://login.microsoftonline.com/> にアクセスできることを確認してください。
- RBS Configurator で入力したアカウント情報に誤りがないか確認してください。
- EntraID 管理センターの Microsoft Graph で「アプリケーションの許可」で許可を付与しているかを確認してください。
- 方式 A の場合: MFA が正しく無効化されているか確認してください。
- 方式 B の場合: シークレットキーの有効期限が切れていないか確認してください。

### 8.2 会議の件名や詳細が表示されない

M365 のリソースアカウントには、既定で会議の件名を主催者名に置き換え、詳細を削除する設定が有効になっています。この設定の変更には PowerShell が必要です。

### 8.3 シークレットキーの有効期限が切れた（方式 B）

シークレットキーの有効期限が切れた場合は、手順 5.5 に従って新しいシークレットを作成してください。その後、RBS Configurator のカレンダー設定で新しいシークレットの値を入力し、プロファイルを再アップロードしてください。

### 8.4 設定が反映されない

M365 側の設定変更が反映されるまで最大 24 時間かかる場合があります。しばらく時間をおいてから再度ご確認ください。

## 9. FAQ

### 9.1 M365 で使用する時に追加のアカウントは本当に必要ないのか？

すでに貴社内で M365 を契約されている場合であれば、サブスクリプション契約の追加は発生しない設計となっています。ただし、以下の機能が利用できるサブスクリプションで契約されていることが条件となっております。

- Exchange Online のライセンスが利用可能なアカウントが 1 つ以上契約されていること
- Entra ID P1 以上の機能があるプランに契約されていること

2026 年 4 月時点ではこれらの機能がある「Microsoft 365 E3」や「Business Premium」以上のグレードであれば、そのまま追加費用なくご利用いただけます。

新規で M365 を契約される場合の導入費用を懸念をされている場合は、GoogleWorkSpace を利用した方法や、クラウド環境で利用できる ATEN Unizon を利用した方法もございます。お気軽に弊社営業までお問い合わせください。

### 9.1 予約システムの仕組みをもう少し詳しく知りたい

各デバイスはそれぞれの仕組みで動作するようになっています。

#### 各機器の役割

- VK430（予約端末）は、会議室の入り口に設置するタッチパネル端末です。ATEN 専用アプリのみが動作する Android 端末で、会議室の予約操作や空き状況の表示を行います。
- VR610（表示端末）は、あらかじめ指定した VK430 とのみローカル通信する端末です。インターネットには直接アクセスしません。
- RBS Configurator は、VK430 の画面デザインとカレンダーの接続先を設定するための専用アプリケーションです。PC にインストールして使用します。
- ATEN Unizon は、M365 を使用せずに、クラウドなネットワークで会議室予約システムを構築したい時のソフトウェアとなります。当マニュアルでは説明を割愛しています。

#### カレンダー連携の仕組み

- VK430 は、Microsoft Graph API を通じて M365 の Exchange Online にアクセスします。これにより、M365 のドメイン内にある会議室リソースのカレンダーに対して、予約の作成・変更・削除をリアルタイムで実行します。
- VK430 からのアクセスは、管理者が事前に設定した認証情報によって自動的に許可されます。利用者がその都度ログインする必要はありません。

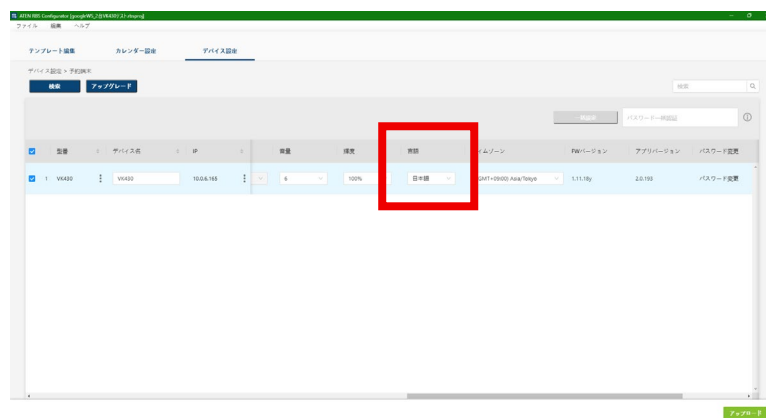
- セキュリティポリシーやファイアーウォールによっては Microsoft Graph API の通信を禁止している場合は、ATEN 会議室予約システムは利用できないためご注意ください。

### 会議室リソースにライセンスは不要

- M365 の会議室リソース（部屋のカレンダー）は、ユーザーアカウントとは異なり、個別のライセンス契約が不要です（2026 年 4 月時点）

## 9.2 VK430 の画面で英語表記になっているので、日本語に直したい

データアップロード時に言語を「日本語」に変更して再度アップロードを行ってください。



### 9.3 何度か更新したら VK430 が「未接続」になってしまった

同じプロジェクトファイルを使用しているにも関わらず、特定の端末だけがカレンダーサーバーにアクセスできなくなった場合は、次をご確認ください

- IP アドレスやサブネットマスクが間違っていないか、VK430 のネットワーク設定画面で確認する
- VK430 を接続していた LAN ケーブルに別途ノート PC など接続し、インターネット環境にアクセスできるか疎通確認する
- LAN のセキュリティが強化されたかネットワーク管理者へ確認する
- DHCP サーバーにて IP アドレスを提供されている環境の場合は、同じ IP アドレスの機器がないか確認する

もしもこれらの設定を確認しても改善されない場合は、RBS configurator から、「端末を初期化する」を行ってください。そして再度プロジェクトファイルを書き込んで通信できるかご確認ください。

### 9.4 VK430 を 1 台ごとに Microsoft365 のアカウントが必要か？

アカウントの追加は必要ありません。ATEN RBS の仕組みとして、すでにある M365 のアカウントで会議室のスケジュールデータを読み書きします。言い換えると会議室や設備保守をされているアカウントがあれば、その方の代理として VK430 が各会議室のスケジュールを読み書きするという仕組みで動作します。

複数の VK430 があってもそのアカウントの方が代理で集約して会議室管理をするようなイメージになります。すでに M365 を契約されているユーザーの方であれば、VK430 などの予約端末だけを購入することですぐにお使いいただけるようになっています。